

時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ようじむ 幼児向け 2023年 ねん 秋号 あきごう



「おうさまがかえってくる
100びょうまえ！」
柏原 佳世子/作 (えほんの杜)

王さまのおへやは、きれいで、ひろくて、おもしろそうなものがいっぱい！

きょうは王さまがおでかけの日。けらいたちは王さまがいないのをいいことに、おへやをちらかしながら遊んでいました。ところが、王さまがより早くかえってきちゃった！さあたいへん。あと100びょうでへやをかたづけろー！

うちどく 家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく (家読)」です。難しいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



「おなまえおしえて」
新井洋行/作 (偕成社)

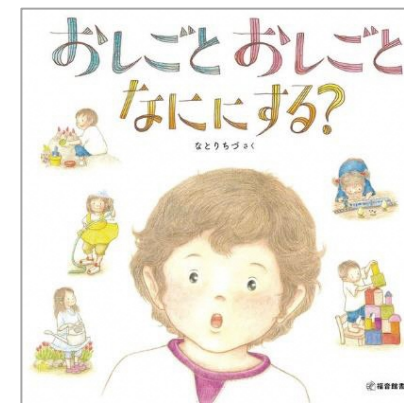
「おなまえおしえて くーださい」
パンダさんにきかれて、動物たちがつぎつぎに名前をこたえます。いぬ、きりん、ぞうなどなど、みんながよく知っている動物が登場します。さいごには、パンダさんが、きみの名前もきいてくれますよ！
動物たちの名前や特徴を知ることができる、楽しい絵本。



「えをかく」

谷川 俊太郎/作 長 新太/絵 (講談社)

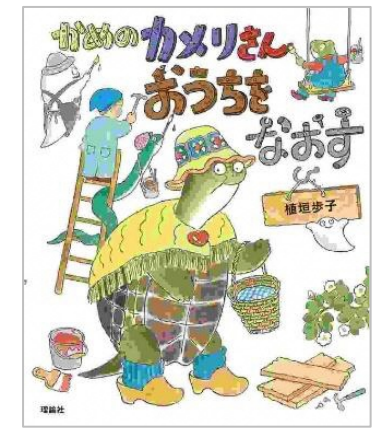
まず、さいしょにじめんをかいたら…そらをかいて…おほしさまやほしもかき…
どんどんと広がっていく絵の世界。絵が描かれていだけなのに、とってもおもしろくてひきこまれちゃう絵本です。
絵本を読んだあとは、家族でおえかきをして楽しんじゃおう♪



「おしごとおしごとなににする？」
なとり ちず/作 (福音館書店)

こぐまえんの、年長はな組の6人のこどもたちが、おさんぽにでかけます。

みんなでうたいながらあるいていると、はずむような音がしてきました。だいくさんです。ほかに、やきたてパンがおいてあるパン屋さんや、きれいな花がならんでいる花屋さんなど、まちはお仕事がいっぱい！
「子どもが初めて出会うお仕事えほん」です。



「かめのカメラさん おうちをなおす」
植垣 歩子/作 (理論社)

カメラさんがおうちをかいました。でも、そのおうちはふるくてボロボロです。さっそく修理屋さんがあつまる「おなおしどおり」に行ってみました。
はじめに入ったのは、へびのリフォームのお店。工事が終わったばかりのおうちを見せてもらえることに！
カメラさんのおうちはどんなふうにおなおされるのだろう？



「ねぞうプロレス」
ひらぎ みつえ/作・絵 (教育画劇)

「うちの子どもはどうしてこんなにねぞうがわるいの？」と不思議に思うパパやママ、いますよね？

それはきつこの絵本のように、毎晩ねぞうプロレスが繰り広げられているからです！
ひろくんのわざ「ふんだりけったりキック」がきまった～！ひろくん家族のねむったままの戦いをとくとご覧あれ！